

【事例紹介】

「事業報告書等を活用して、医療法人の事業展開を調査」

- ・ 事業報告書から経営状況の推移を確認
- ・ 事業規模や開院エリアの変化を確認

医療法人財務情報データベース「メディコサーチ」では、全国の医療法人が提出した事業報告書を各都道府県から収集して収録しております。過去最大で2014年決算分まで遡って、事業報告書の原本を閲覧することができます。医療法人の事業拡大の変遷を事業報告書から読み取ることができます。時系列で医療法人の事業展開を調査する事例を紹介いたします。医療法人の経営成功事例のケーススタディ、あるいは医療業界でも近年増加傾向にあるM&Aにまつわる調査などの場面でお役に立つことがあるのではないかと思います。

～ 医療法人の「事業報告書」から経営状況の推移がわかる ～

医療法人は「医療法第52条第1項」の規定に基づき、毎会計年度終了後3か月以内に、事業報告書等（監事監査報告書等）を都道府県知事に届け出なければいけません。事業報告書、財産目録、財務諸表、監事監査報告書などが提出されます。それぞれの書類には以下の内容が記載されています。

- ・ 事業報告書… 法人名称・所在地・設立認可日・役員や評議員（一般の医療法人は任意）、本来業務内容（病院や診療所の名称・所在地・病床数）、付帯業務内容、社員総会等で決議した事項、など
- ・ 財産目録… 資産額・負債額・純資産額、土地及び建物の所有および賃借状況
- ・ 財務諸表… 貸借対照表と損益計算書

医療法人が毎会計年度終了後に提出していますので、直近の情報だけではなく前年度及び前々年度の情報も知ることができます。

【事例】それぞれの情報をもとに、医療法人の経営状況を分析

都道府県に開示請求すると、基本的に各医療法人の3年分の事業報告書を閲覧できます。また、ネオステージが提供している医療法人財務情報データベース「メディコサーチ」を利用すると更に過去分を遡って事業報告書を閲覧することができます（過去2014年決算分まで収録）。

事業報告書は定型様式で毎年同じ項目が記載されていますので、例えば医業収益や利益の変化、病院や診療所の一覧から分院の展開状況などを読み取ることができます。経営が順調な医療法人のケーススタディとして参考になるファクトが事業報告書の中に書かれています。ご参考として、事業報告書から把握できる情報の事例を以下に紹介させていただきます。

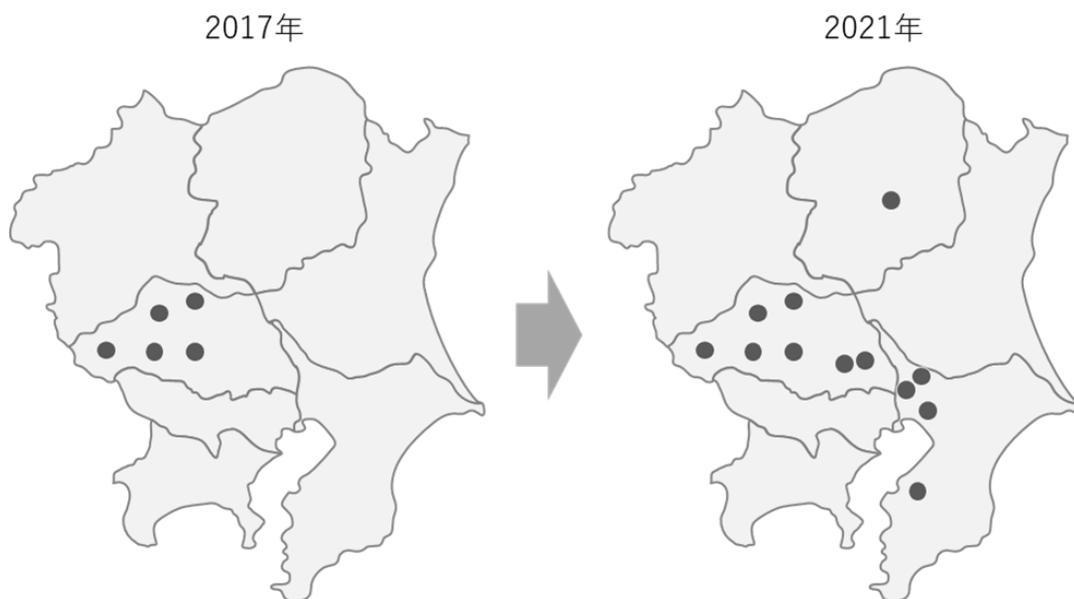
事例① 医療法人A

- ・所在地：埼玉県 ・認可年月：2009年9月 ・医業収益：約26億円
- ・眼科クリニックを埼玉県及び千葉県、栃木県で展開

医療法人財務情報データベース「メディコサーチ」を利用して、この医療法人Aの2021年決算分と5年前の事業報告書を確認して比較してみました（下記の図1をご参照ください）。埼玉県で開院して2009年に法人化をおこない、現在に至るまでに12か所の眼科専門クリニックを開院しています。当初は埼玉県を中心に分院を開院していき、最近は千葉県にも展開しているようです。クリニックを増やしていくとともに、財務面においても資産規模や収益規模を順調に拡大させています。自己資本比率や利益率も高い数値で推移しています。ちなみに、この医療法人Aが取り上げられていた業界専門媒体の取材記事を読むと、最新の医療機器を積極的に導入して眼科手術の件数も増加しているようです。

【図1：医療法人Aの財務状況推移、クリニック開院場所の推移】

	2017年決算	2021年決算
流動資産	1,005,181,000	2,603,839,000
固定資産	261,558,000	559,666,000
流動負債	165,176,000	247,175,000
固定負債	8,840,000	3,848,000
純資産	1,092,723,000	2,912,482,000
医業収益	1,424,197,000	2,934,715,000
医業利益	387,488,000	406,554,000
自己資本比率	86.3%	92.1%
医業利益率	27.2%	13.9%
診療所数	5件	12件



事例② 医療法人B

- ・所在地：神奈川県
- ・認可年月：1981年8月
- ・医業収益：約11億円
- ・歯科クリニックを神奈川県および東京都で展開

医療法人Bも同様に事業報告書を通じて2021年決算分と5年前の状況を比較すると、クリニックが増えています（下記の図2をご参照ください）。2017年時点において東横線沿線の近隣地域で5件の歯科医院を経営しており、その後5年の間に更に3件を開院させています。近しいエリアで分院を増やしており、地域密着型で展開していることがわかります。今後もドミナント戦略的に近隣地域で分院が増えていくのかもしれませんが。

【図2：医療法人Bの財務状況推移、クリニック開院場所の推移】

	2017年決算	2021年決算
流動資産	181,151,000	574,745,000
固定資産	144,384,000	327,391,000
流動負債	80,005,000	110,385,000
固定負債	120,714,000	583,473,000
純資産	124,816,000	208,278,000
医業収益	680,992,000	1,115,289,000
医業利益	40,997,000	35,430,000
自己資本比率	38.3%	23.1%
医業利益率	6.0%	3.2%
診療所数	5件	8件

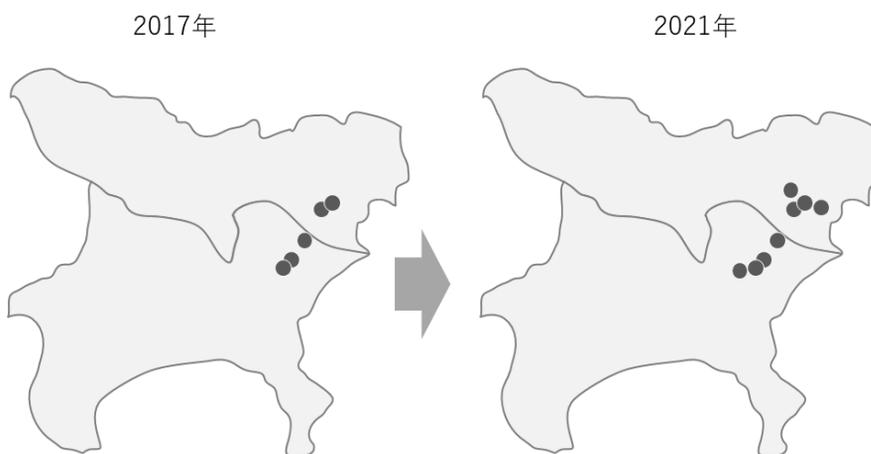


図1・2 株式会社ネオステージ「医療法人情報データベース メディコサーチ」をもとに作成

終わりに

例として2つの事例を紹介させて頂きましたが、事業報告書を過去に遡って確認することによって、財務状況が安定的であるかどうか、分院展開がいつ頃に行われて財務状況がどのように変化しているのか等がわかります。また、これらを総合的に読み取ることで、当該医療法人の今後の動向を推測できるのかもしれませんが。事業報告書は毎年提出されますので、経営状況の変化を確認する方法の一つとして参考にして頂けます。